

平成23年10月8日に島田市・川根本町・大井川鉄道連携で開催された「SLフェスタ2011」にて  
SLファンでにぎわう千頭駅



かわねほんちょう  
議会だより

第25号  
平成24年1月発行  
発行 / 川根本町議会  
編集 / 議会だより  
編集委員会

\* も く じ \*

11月臨時会・12月定例会報告	2
一般質問	3~11
議会日誌・編集後記	12

# 議会報告(11月臨時会・12月定例会)

## 11月臨時会

平成23年第2回臨時会(11月臨時会)が平成23年11月29日に会期を1日として開催されました。

59億8千737万6千円  
 ……全員賛成で可決  
 台風12号災害の復旧に関する補正です。

## 12月定例会

平成23年第4回定例会が、会期を12月14日から21日までの8日間として開催されました。

## 条例関係

川根本町税条例の一部を改正する条例  
 ……全員賛成で可決  
 地方税法等の一部改正に伴う改正です。

川根本町消防団等公務災害補償条例の一部を改正する条例  
 ……全員賛成で可決  
 「障がい者自立支援法」の一部改正に伴う改正です。

## 条例関係

川根本町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例  
 ……賛成多数で可決  
 人事院勧告に基づく町職員の給与と条例改正です。

## 補正予算

平成23年度一般会計補正予算(第5号)  
 補正額  
 7千450万円の増  
 補正後の総額

平成23年度一般会計補正予算(第6号)  
 補正額  
 5千406万1千円の増  
 補正後の総額  
 60億4千143万7千円  
 ……全員賛成で可決

## 補正予算

平成23年度一般会計補正予算(第3号)  
 補正額  
 882万8千円の増  
 補正後の総額  
 3億8千268万1千円  
 ……全員賛成で可決  
 落雷による設備修繕や点検による緊急修繕等の補正です。

平成23年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)  
 補正額  
 882万8千円の増  
 補正後の総額  
 3億8千268万1千円  
 ……全員賛成で可決  
 落雷による設備修繕や点検による緊急修繕等の補正です。

平成23年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)  
 補正額  
 856万8千円の増  
 補正後の総額  
 9億6千189万8千円  
 ……全員賛成で可決  
 人事院勧告等に伴う職員人件費及び前年度療養給付費等の精算についての補正です。

平成23年度いよしの里診療所事業特別会計補正予算(第3号)  
 補正額  
 1千396万1千円の減  
 補正後の総額  
 3千729万7千円  
 ……全員賛成で可決  
 11月17日から再開した「いよしの里診療所」の運営にかかる経費と職員人件費の補正です。

平成23年度いよしの里診療所事業特別会計補正予算(第3号)  
 補正額  
 5千775万円  
 契約先  
 株式会社柳澤組  
 (川根本町)

平成23年度林道施設災害復旧事業 林道富沢線災害復旧工事  
 ……全員賛成で可決  
 契約額  
 5千775万円  
 契約先  
 株式会社柳澤組  
 (川根本町)

## 議員提出議案

「軽油引取税および石油石炭税の免税等に関する意見書」  
 ……全員賛成で可決

## 工事請負契約

平成23年度林道施設災害復旧事業 林道富沢線災害復旧工事  
 ……全員賛成で可決  
 契約額  
 5千775万円  
 契約先  
 株式会社柳澤組  
 (川根本町)

(写真) 議会最終日は、むつみ学級の皆さんをはじめ、多くの方が議場へお越しくださり、熱心に傍聴していただきました。





太田 侑孝 議員

問

ブロードバンド断念の原因・要件は何か  
二元代表制の各役割と責任について  
Wリコールは町長・議会への不信任では  
住民投票否決の議会でも町づくり条例とは？

**質問** ブロードバンドのアンケート調査を受けて、事業を断念すると表明したがその原因・要件は何か伺う。

**町長** やはり事業費と維持管理費の財政的負担を心配しての事が大きい。又N.T.T局舎が町内に3カ所存在し、周辺地域では利用等も早く、光ファイバー整備をそれほど望んでいない事情もあります。住民説明会後の情報提供も少なかったという反省もあり、町の提供した各種の情報に対して疑問を持たれました。

それが必要としないとした41.5%に繋がっていると思います。

**質問** ブロードバンド事業推進経過の中での二元代表制及び各責任について伺う。

私たち5人の議員は「住民目線」で、調査研究と勉強・議論を重ねながら2年間で10数回出張して学習してきた。その住民目線で「行政案」に対してのチェック機能をはたしてきただつもりである。

住民投票条例案にも賛成したが多数決にはかなわず6対5で否決された。一方のブロードバンド賛成派の議員は、住民投票条例案を否決し、その住民投票に代わるものとしてアンケート調査を決議して、その結果41.5%にも及ぶブロードバンド事業を必要としない住民の意思表示を受けた。

**町長** ブロードバンド事業がノーではなくて、推進した議員の責任は重大であると思う。

二元代表制の各役割と責任について伺う。

**町長** 新町建設計画、総合計画基本構想、23年度一般会計繰越明許について議会の議決を受けています。これに

対し私は議決されている予算を執行する責任を果たしていない事になります。

**質問** ダブルリコールの署名簿が審査中である。町長解職2千786人、有権者の38.5%、議会解散は2千892人、39.9%。住民投票を行った場合の投票率75%、80%で過半数となる数である。これは町政の方針等に不満が募る住民の町長と議会に向けられた不信任の署名簿であると思う。この重大な責任について伺う。



緑肥・ナギナタガヤ(茶の木抜根跡・梅高)

大変深く重く受け止めています。リコールの主旨は、この事業の推進に当たって町を混乱させてしまった事に対する責任であると自覚しており、こうした事態になった事の責任の重さを痛感しております。

**質問** まちづくり基本条例が3月議会上程の予定だが、ブロードバンド整備という特別重要事項についての住民投票条例案を否決した議会にそれを諮って決ましようと考えているのかを伺う。

**町長** 否決されたのですが、町づくり基本条例を提案する事が何か問題があるのですか。町としては重要案件については住民投票を必ず行うというものではなくて、必要と認められた場合はあり得るということです。

答

やはり事業費と維持管理費の財政負担を心配して議決された予算を執行する責任を果たせなかった事業推進に当たって町を混乱させた責任を痛感する重要案件で住民投票が必要であるという場合に行うというもの



原田 全修 議員

問

アンケート結果からブロードバンド事業の  
白紙撤回をしたがこの事業をどう総括するか  
若者の世代ではこの光ファイバー事業が「必要だ」  
と答えているのは15%程度ではないか

**質問** 私は、川根本町ブロードバンド環境の整備に関しては代案としてNTTの光化事業の誘致、それと並行して若者の定住化には必須と思われる超高速ワイヤレスブロードバンドであるワイマックスやLTEという次世代携帯電話の誘致、それまでの間の町内の情報格差対策として、今の携帯電話で扱える高速ワイヤレスブロードバンド、人工衛星ブロードバンドの活用を提案してきた。今回、当町独自のブロードバンド基盤整備事業の白紙撤回をどう総括するか。

**町長** アンケート結果を尊重し、一度白紙の状態として再度、公設での整備を進めるか、民間事業者による対応が可能なのか検討していく考えである。

**質問** 29歳以下の若者の世代のアンケートの参加率が43%位と極めて低い。その要因は若者が最も興味を持ち期待をしている次世代のワイヤレス超高速ブロードバンドへの取り組みが大きいと思う。川根本町独自の光ファイバー事業が「必要だ」と答えているのはこの世代の15%程度ではないか。

**町長** 若者が期待するツールと、町として整備していくべきものとの間には必ずしも一致しない点があるのだと思っている。

**質問** 川根本町独自の光ファイバー事業計画は町民には知らせていないシステムとして多くの問題点があった。これについては設計者のチーム計画設計(株)自身が認識できていなかったのか。まず、せっかく光ファイバー網を作ってもインターネットがNTTにつながらない。このため光電話にもつながらず、次世代インターネットのサービスが受けられない。当町の独自設計の設備では将来ともNTT等への譲渡ができず永久的に町が保有することになり、今の若者世代がやがて大きなツケを背負わねばならなくなる。



**企画課長** NTT電話網との接続の可能性は設計の中ではある。

**質問** 年間の運営費以外に、年間約1億円の設備維持更新の費用(16億円の事業の場合)が必要であるのに住民に知らせていない。

**町長** 公会計には償却費という概念はない。

**質問** 町はNTTのケープルの光化の時期について2025年以降になるなどと誤った解釈を町民に広報している。

**副町長** NTTは、中継局までは光化しても各家庭までが光化するということは確約されていないということである。

**質問** 地域振興に関する施政は2年間で空白だった。教育長の不在期間が3年になるうとされている。南部小は複式学級化が余儀なくされてしまった。町長は、昨年の住民懇談会で保護者や地域の意見をアンケート集約して学校統合の考えに生かすと約束をしているがどう対処されたか。

**町長** 教育長の件については、今回たまたま

答

一度白紙の状態として再度、公設での整備を進めるかなどの検討をしていく考えである  
若者が期待するものと町の整備計画の間には  
必ずしも一致しない点があると思っている

このようなりコールの渦中に入ってしまったということ、今はもう少し静まってからでないかと着手できないなどの思いである。



山本 信之 議員

問

富沢地区への対応について  
川根本町・春野町国道362号整備促進  
期成同盟について  
光ファイバー事業について

**質問** 富沢地区へ通じる林道富沢線が台風により路肩決壊のため、通行止めとなっているが、現在の状況はどうか。

**町長** 平成24年度9月末を工期として復旧工事を進めています。なお、林道上部の山腹にもクラックが入っており、県農林事務所が治山工事を実施する予定です。

**質問** 林道富沢線の工事完成までの迂回路についてはどう対応していくのか。

**建設課長** 来年3月までは大井川に仮設道路を設置し対応していきます。

**質問** 4月以降は大井川の仮設道路が無くなってしまうことになるが、どう対応していくのか。

**建設課長** できるだけ工期の短縮を図れるような工法を検討し、工

事の進捗状況を見ながら軽自動車の通行ができるような方法をとっていきたくと考えています。

**質問** 今後も富沢線が災害を受け、孤立状態になることが考えられるが、今後の迂回路の対策については。

**建設課長** 林道平戸線から富沢集落までの迂回路の新設について調査し、測量、設計を実施する予定です。

**質問** 国道362号の川根本町・春野町間の整備促進期成同盟会の設立の要望があるが、町の考えはどうか。今後はどう進めていくのか。

**建設課長** 既成同盟会設立については、地元からの要望もあることから、設立をしていきたいと思っております。

今後は、早期に設立できるような事務を進めていきたいと思っております。

近々、浜松市側と打ち

合わせを行うよう連絡を取っていきます。

**質問** 光ファイバー事業について、11月に実施した住民アンケートの集計結果については、全員協議会で報告され、町長からは「アンケート結果を尊重し現計画は白紙に戻す」と発言された。これから、どのような対応をしていくのか。

**町長** 来年度においては詳細設計に着手しない。来年度においても設計関係予算は計上しない。

現在アンケートに記載されている意見の集約を行っています。本年度の残された3カ月で、民間通信事業者の提案やご意見を聞き、

議会の皆様や町民の民様とも共有しながら、今後の整備方針を進めていきたいと考えています。

**意見** これからのまち

づくりのためには、光ファイバー事業だけでなく、その他の事業にも目を向けなければなりません。行政、議会、町職員が一致団結して、この町の将来のために議論していく必要があります。出来る限り早期に町政の安定を図るため、早急に行政と議会が、事態の收拾に向けて検討することが必要です。



林道富沢線の崩落現場

答

復旧・迂回路については早急に進めていきます  
期成同盟会は早期に設立する  
光ファイバー事業についての計画は白紙に戻す



中野 暉 議員

情報通信基盤整備について  
観光事業と農業振興について  
被災地林道建設について

問

**質問** アンケート結果により情報通信整備事業は白紙に戻した。情報格差は残る。今後の対応を伺います。

**町長** 都市部地域での更なる通信環境の整備により、確実に格差は拡大していると考えます。当町においても地域間格差整備の必要性はあると思います。今後はNTTと再度協議を進め、行政・議会・住民の皆様と総合的に検討して行きたいと考えています。

**質問** 観光客の新規開拓とリピーターの増加対策について伺う。

**町長** 観光の形態・ニーズが多様化し、見せる観光だけでなく、体験型観光が各地で行われています。豊富な観光資源に恵まれた当町は適地であり地域全体で情報発信能力を高める事も重要と考えます。観光資源の中長

**町長** 施設を必要に応じてリニョールしながら施設の魅力・コンセプトな情報を発信し続けること、観光資源の整備等は自然環境の保護・保全が大切で地域を区別する事も重要と考えます。

**質問** 農業振興及び耕作放棄地対策について伺います。

**町長** 特産物「お茶」は今年度も数々の輝かしい受賞をして頂き全国に川根茶を発信できました。また、農林事務所の指導で共同工場による安定生産体制の確立による低コスト省力化栽培の現地検討を実施しております。耕作放棄地面積は29ヘクタール、約600筆あり複雑な問題を抱えています。再生利用事業によりお茶と併せて経営のできる複合作物への支援補助を行っていききたいと思

**質問** 富沢林道の被災地崩落場所に仮設道の設置が可能か伺います。

**町長** 工事現場が狭く急峻な箇所のため仮設道を設置した中での復旧工事は困難であると思います。大井川の仮設道が使用できる間に工事を進捗させ、通行が可能な状態に持っていきたいと考えています。

**質問** 迂回路建設について伺います。

**町長** 迂回路の計画は林道ヒラト線からの迂回路の設置を検討してまいります。12月補正予算で測量設計委託料として989万円を承認いただき、24年度中に測量設計を終了予定です。迂回路完成は早急な対応が出来ないか

**建設課長** 机上の計画では幅員3.5メートル・延長約160メートル、測量設計も相当な日数を予想します。一連の準備が整い、早く平成25年度から現場に入り、最低でも3年はかかると考えられます。

**その他質問したこと** 情報通信事業が白紙になり各課の現状と今後の取組、防災・福祉・教育・観光について新たな観光資源開発と取組、景観伐採等観光地の見直し、観光景観対策に花木の植栽を寸又ダムに土砂対策、長島ダムに船を浮かべては、当町からオリピック出場対策を力又一の町川根本町を積極的に全国・世界にアピールする、観光地には地元の食材を活かした料理の取組、耕作放棄地対策に市民農園・体験農園を、身土不二、

答

川根に来たら美味しいお茶が飲める  
川根は自然が美しい  
他から沢山訪町の呼掛けを

自分の食べる物は自分で栽培する。販売所の設置と農業支援員の要請。お茶を呈茶する勉強会。もりのくに・文化会館、更なる共同を。



小藪侃一郎 議員

問

川根茶の篤農家に町認定呼称制度の創設を町営サッカー場の芝生化は必要と考える  
職員の士気向上と人材を使う町長の努力は町政混乱の長期化は避けるべきだ

**質問** いま「川根茶」があるのも、先人からの貢献と大臣賞を目指す篤農家のおかげであり町認定呼称制度の創設を提案します。

**町長** 茶業に限らず他の部門もという提言でもありましたので、考えていきたいと思う。

**質問** 観光事業強化のため観光協会の体制強化について。

**商工観光課長** 雇用創出事業が今年度で終了する。次年度はエコツアーリズム関係の職員を委託し体験型観光の体制を強化したい。

**質問** 青部バイパスの進捗状況を伺う。

**建設課長** 藤沢橋がほぼ完成し、本年度は用地交渉を進めております。来年度から県道への取り付け道路の建設に入っていく予定です。

**質問** 町営サッカー場は芝生化が必要です。

**町長** 今後の事業優先

順位や住民の要望、ご意見を聞き、慎重に検討推進をしていきたい。

**質問** 町政の軸足は町民に置かなければならないとした町長は町独自の通信事業は何処に軸足を置いてきたのか。

**町長** 町民との意見に隔たりがあったからといって軸足が町民の立場に立っていないかったことにはならない。

**質問** 2年前の船出の時の「変わろう、変えよう」はどうだったのか。変化はあったか。

**町長** 現状は具体的にこう変わったという変化は生じていないかもしれない。

**質問** 中国竜泉市とは町制の大きな格差が懸念される、どのように考えているのか。

**町長** 県の担当者にもご協力いただきながら今後についても検討を進めているところです。

**質問** 住民投票条例請

求を特別委員会では中澤委員長決済で否決。議会は5対6で否決した事がWリコールの原点です。2千700名余の署名の重さについて町長の見解を伺う。

**町長** 町の有権者の4割弱の方々の署名の事実について、大変重く受け止めている。情報基盤整備事業の推進に当たって町を混乱させたことに対しての責任であると自覚しており、リコールの事態になつて責任の重さを痛感しています。

できる限り早期の町政の安定を図るため早急に議会の皆様と収拾について検討したいと考えています。来年早々有効署名数が確認された結果をもって慎重に検討したい。

**質問** 厳しい経済環境の中、このまま3、4カ月経過していいのか。

**町長** どういう身の処

し方がいいのか自分の中で定まっていない。

**質問** 役場職員が士気を高め、人材をうまく使いこなせたのか、町長自身の評価を伺う。

**町長** 私は性格的に、強力にリーダーシップを発揮して引つ張っていくタイプでなく、私のメッセージが届かなかつた部分があつて、その改善が進んでいるという点については私自身感じ取っていない。

**質問** 忠告、懸念を上申する課長、職員はいなかつたのか。

**町長** 特になかつたというふうには思う。

**質問** 一例をあげるが、今年も残り少ない12月です。町長室の元旦メッセージが1年間も更新されていません。職員もたるんでいる。情報発信を声高らかに言いながら無責任だ。全品優勝やオリンピック選手輩出等の快挙を水の

答

茶業に限らずその他の部門でも考えていければいい事業の優先順位や要望、意見を聞き、慎重に検討する私は性格的に強力な指導力を発揮する型ではない早期の収束を検討。身の処し方が定まってい

泡にしてしまう。

**町長** 今年の正月の掲示がそのままだったという事です。誠に申し訳なく思っております。

**企画課長** 今後このようないきたくない。うなことがないよう気を付けていきたい。



市川 昌美 議員

情報通信基盤整備事業推進の真意は  
茶産業の抜本的な対策は

問

**質問** いままさに町長解職、議会解散請求のダブルリコールの結果が迫っております。町長と一部賛議員が推進したその根底にある真意はどこにあったか伺います。

**町長** 新町建設計画の主要プロジェクト、地域光ネットワークの整備として計画されました。この事業に固執、強行したというご指摘ですが既に見直すことにした事業です。

**質問** 生産家はもとより、茶商、農協等、この産業で生きる者にとって、状況は深刻で、来季の見通しがたないが、安易な言葉でなく差し迫った中での抜本的な対策を示してください。

**町長** 県内外の他産地との産地間競争や、安心安全な茶づくりに対する消費者ニーズの急速な高まりなどにより、

町主要産業である茶業を取り巻く状況は年々厳しさを増しておりますが、貴重な地域資源として茶業の活性化は重要だと考えます。まず川根本町茶産地のブランド力の確立、消費者が求める新ブランドの取り組みや産地と流通経路の確立等、また、冬場のお茶以外の産物、わさび、柿、しいたけ、たけのこ、栗、柚子、ブルーベリー、山菜類など他の産物に活路を求めるところも大切です。

**質問** 風評被害のもととなった放射能ですが、町が購入した放射能測定器の使用状況と今までの測定実績はどうなっていますか。現在茶1kgのセシウム含有量は500ベクレル以下ですが100ベクレル以下になると聞いています。対応を伺います。

**町長** 現在放射能測定器については使っておりません。新聞などでは報道されていますが、まだ国の基準値がはっきり定まっていない状況で、今後はつきりした通知が来ると思っています。風評被害の請求については、各農家が農協を通じて東電へ行うことになっており、来月にも茶商さんへ東電から説明があるという聞いています。

**産業課長** 現在放射能測定器については使っておりません。新聞などでは報道されていますが、まだ国の基準値がはっきり定まっていない状況で、今後はつきりした通知が来ると思っています。風評被害の請求については、各農家が農協を通じて東電へ行くことになっており、来月にも茶商さんへ東電から説明があるという聞いています。

**教育総務課長** 放射能測定器は、学校、児童・生徒の安心安全とすることで昨年1台購入し

**教育委員会** 保管していません。学校や教育施設で測りたい場合は貸し出しを行っています。**意見** お茶の専業農家への支援、本気でやっている人へ、今、町も思い切った支援をしないとダメになるところまで来ている厳しい状況。セシウムの100ベクレル以下への対応は重大な問題。測定器を持つていたら、徹底的に測っておかなければ間に合わない。茶商も農協も買わなくなる。この問題を早急に勉強し、調べていただきたい。



町内に広がる茶園

合併時の重点事業の策定に沿って実施へ  
多角的な見地から各ブランド化を

答





森 照信 議員

問

待ち望んでいた人にはショック  
曲げられて伝えられていた情報

**質問** 住民アンケートの結果、事業の見直しを図っていくと言うことは、待ち望んでいた人には本当に遠くへ行ってしまうようなショックと言うものは、非常にはかり知れないものと思います。現実的には、お互いの立場にたつて考えてやらなくてはいけないことだと思いませんけれども、その辺の思いは？

**町長** 確かにこの事業が早く進みますよう期待されていた方もいらっしゃると思います。どういう整備方法があるのかもっと検討しながら皆様のご理解のいただけるようなシステム、そういうものを考えていく、いかなければいけないと思っております。

**質問** 町内はもとより都市部との情報の格差と言うものは、本当に目を追うことに開いています。何もかもが過

疎化していく、社会から取り残されていくような現実、これをどう捉えていますか。

**町長** 徳島県の事例がテレビで放映されておりました。それは、県下全域にわたり光ケーブルが張られている。その光ケーブルがあることにより、IT企業がオフィスを田舎に持つてくる、空き家を東京のオフィスとテレビ電話でつなぎ、東京のオフィスとすぐ隣に徳島のオフィスが同居しているような仕組みの中で業務に取り組んでおられた。NPOが盛んに相手企業の誘致のため取り組んでおられる。音戯の郷へ音の彫刻で来られていた小久保先生、彼は環境音楽の作曲をするのが仕事ですが、光が施設されるならここへ来たいとお話もありました。いろいろ可能性があります展開

できた部分はあったのではないか、そういう意味では残念だなと思えます。

**質問** アンケートの内容の中で、「将来に対して負担が残る、毎月4千円を年金から徴収される、そうなる生活が大変である」など、どこからそのような情報が流れたのか、これはアンケートをやったから出てきた町民からの意見です。どこでどう町民に曲げられて伝えられたのか、しっかりと調べ検証するべきであると思いたすがいかがですか。

**町長** そういう情報がどういう形で伝わったのか分かります。けれども、町の広報不足、説明不足の点がそういう結果



音の彫刻コンクール2011  
最優秀作品  
『からりこるり』

を招いたのだと思いません。

**質問** いろいろな情報が出された、町民を混乱させた現実、それはしっかりと分析し、否定するところは否定し、時間をかけてでも真実をしつかり報告することがアンケートに回答してくれた町民への義務ではないかと思いたすがいかがですか。

**町長** 確かに今後取り組んでいく上で考えていかなければならないそういうお話だと思いますので、心して取り組んでいきたい。

答

理解されるシステムを考えていかなければならない  
心して取り組んでいきたい

**辞職・議会解散で混乱の収束を  
現道に仮設道を、見舞金の創設を  
浜岡原発の永久停止を求める考えは？**



鈴木多津枝 議員

問

**質問** 情報通信基盤整備事業の白紙撤回を、早急に町内の情報格差解消に取り組み、関心を持つ町民を入れて計画を見直し、NTTや国へ働きかけを強めるべき。町長は「混乱を招いた責任の一端は私にもある」と他人事のように言うが、リコー署名は法定数を超え茶時選挙の可能性もある。早急に辞職・議会解散して町民の不安解消を図るべきでは。

**町長** 現在の事業は白紙に戻し再構築が必要だが、今は委員会設置など具体的なものはない。NTTは初期投資を30億とし、減価償却や採算性もあり町全域にサービス提供の可能性は低い。茶時の選挙は困るが今は署名の審査結果を待ちたい。

**質問** 孤立して3ヶ月以上も経つ富沢地区の1日も早い孤立解消



林道富沢線の災害現場

を。やっと歩いて通れる厳しい山道1本が命綱で、ようやく完成した大井川仮設道は一夜で流され復旧に半月以上かかった。1日も早く崩落現道に仮設道が必要。茶時に間に合わない時の対策は？長引く孤立生活で生活物資の確保や健康への影響も心配。車のレンタル料など二重生活の費用も嵩んでいる。励まし合い助け合って耐えてきた地区の皆さんに生活支援や見舞金制度の創設を。

**町長** 大井川の仮設道路が使用可能な3月中旬までに被災箇所を復旧に努め、車両通行可能にしたい。レンタル料など二重生活への支援を考えたい。

**質問** 7月に放射線計測器を購入したが結果はどうか？子どもが長時間過ごす場所を定期的に測定し公表を。また食品用放射線量測定器を購入し、国の基準より低い当町独自の基準を設けて、学校給食食材や、茶農家も使えるよう整備し、子どもを守り消費者の信頼を得られる町づくりを進めるべき。また菅元首相の要請で一時停止中の「世界で一番危険」な浜岡原発の再稼働を許さず、永久停止・廃炉を求める意思表示を。

**町長** 購入した測定器は学校など要望があれば貸し出す。職員が出向いて測定し公表も検



町で購入した放射線測定器

**質問** 北部・南部でサービスが違う高齢者配食サービスを統一しようとしているが、本来の目的、配達ボランティアの意義、提供基準の明確化を問う。

**町長** 食事調理の困難な高齢者の助けとなる

討する。給食食材や茶の安全性は国の基準に沿った検査で確保されていると思う。給食食材は月1回、調理済み食材を全て混ぜ合わせて検査する委託料を来年度予算に計上し、結果を公表したい。浜岡原発再稼働は県や周辺市町と連携して対応したい。

**署名の審査結果を待ち、法に沿って進める  
3月までに仮復旧し、生活支援も考える  
周辺市町の動向見て、慎重に考えたい**

答

ことを目的としているが、ボランティアの存続が困難になってきたので、継続できる方法を検討している。



中田 隆幸 議員

**整備を必要と思う所の対応は  
同報無線野外拡声機は音量を下げるか  
長さを短く出来ないか**

問

**質問** 情報基盤整備事業は、アンケートの結果、事業を見直すと言っておりますが、整備が必要と答えた人が27%おります。また、地域により高速ADSLの繋がらない所もありますが、この様な所はどの様に考えておられるのかお伺いします。

**町長** 回答率62.5%と非常に高く、最も多い回答は「必要と思わない」であり、この結果を尊重し、現在提示している事業計画は白紙とし、再度、格差是正のためにも高速大容量の情報通信基盤は必要との認識の上で事業の再構築を考えております。今後検討する中で、今更提案してきた、町で事業主体とした光ファイバー網の整備にこだわらず、民間事業者による整備の可能性やケーブル敷設のみならず、無線技術の活用も検討

していくことになります。今更提示してきた事業計画を白紙としたことに伴い様々な検討が必要になります。不便な地域については最優先に環境整備ができるよう計画しなければならぬと考えています。

**質問** 合併の時、新町建設計画の中、又、第1次川根本町総合計画の中にも光ファイバー網を中心とした高速大容量の通信網の整備を促進すると書いてあります。それにそつての事業であったと思えます。初期に説明を受けた時の、端末機の使用料が月千円掛かる事が問題であったと思えますし、その後の説明がなかった事も大きな問題と思えます。又、B.B調査隊による原価償却費一億円等の試算がありますが、今更でも国家資格を持つ会社に試算

をしていただいていると思えますが今更は複数社で積算ができるかをお伺いしたい。

**副町長** 当然ながら指名委員会というものを經由してまいります。これは事業の担当課がそれぞれの資格、免許等をもつた会社の資料を出して、それらを基に、例えば補助事業であれば、基本的には5業者以上を選定します。又、簡易な工事はなるべく町内の業者で確実に行う業者を選定します。これが指名委員会であり、この会をもつて条件をクリアしていると考えていただき、今更もそのようにおこなって行きます。

**質問** 現在の同報無線野外放送の音楽が非常に大きな音量で、地区によっては迷惑がかかっております。計測を行い音量調節、又、放送時間の短縮調整が出

来ないかお伺いしたい。

**町長** 今回地区によって屋外子局の放送により迷惑されているという事ですが、設置の目的が防災用であり、情報を確実に伝えるため、ある程度の音量は確保しなければなりません。ただ、音楽は変更可能であり、12月22日開催の区長連絡会でも朝夕の放送時間を短いものにと要望がありました。区長連絡会で皆さんの意見を聞いて対応させていただきます。



答

**環境整備の出来る所は考えたい  
時間を短くするか検討をしたい**

きます。  
**総務課長** 業者を入れて対応をすると言う事でお伺いしたい。

# 議 会 日 誌

## 10月

- 6日 社会福祉協議会評議員会
- 10日～21日 第1回議会臨時会(11、13、14、17、20日  
住民投票条例特別委員会)
- 18日 いやしの里診療所運営委員会



町社会福祉協議会事務所・福祉センター(上岸)



志太榛原五市二町議会議員研修会

## 11月

- 4日 志太榛原五市二町議会議員研修会
- 11日 町議会広報研修会
- 16日 第55回全国町村議長大会
- 29日 第2回議会臨時会

## 12月

- 1日・19日 社会福祉協議会理事会
- 3日 第12回静岡県市町対抗駅伝競走大会
- 13日 いやしの里診療所運営委員会
- 14日～21日 12月議会定例会



第12回市町対抗駅伝競走大会

### 3月の議会日程

初 日：3月6日(火) 両日とも開会は午前9時です。  
最 終 日：3月21日(水)

本会議はどなたでも傍聴できます。ぜひお越しください。議会の日程は変更になることもありますので、詳しい日程は議会事務局(電話56-2229)までお問い合わせください。

### 編集後記

東日本大震災、それに伴う津波、原発事故、台風12・15号、昨年があまりにも悲惨であり、今年もまだ抜けきれずにおられる、そのような中で新年を迎え、今年も天に祈る千支にちなんで夢や希望をかなえてもらいたいものです。初夏には第二東名も県下を最初に開通いたします。大代地区のインターチェンジは新しい希望の星として空港と一緒に地域の産業とどう活用を進めていくのか、今からの対応、取り組みが必要で進んで改革、挑戦をしていかなくては地域の発展は乏しいこの地域においては、積極的に自ら動いていく気持ちが必要です。足りないように思いますが、他地域の比ぶ豊かさがあるのでは、少しの無謀さ、冒険的なものも必要はないかと考えます。(N・M)

### 編集委員

(第一常任委員会)

- 委員長 中澤 智義
- 副委員長 山本 信之
- 委員 板谷 信
- 委員 鈴木 多津枝
- 委員 市川 昌美
- 委員 森 照信